

# 動物の蘇生方法

熊本県立宇土高等学校

## 要旨

身近な動物が、てんかん発作、不整脈、中毒や事故にあった場合、正しく処置を行い蘇生することができるのだろうか。予期せぬハプニングに上手く対処できるように、私たちは動物の蘇生方法について調査し、専門の方にアンケートを答えていただくことで、正しい蘇生方法と蘇生を行う上での注意点などを明らかにした。今回は的を絞り、家庭で多く飼われている「犬と猫」の蘇生方法について研究を進めた。

## 1. 目的

動物の蘇生法について多くの方が知識として取り入れ、大切なペットとできるだけ長い時間を一緒に過ごす方法を理解してもらおう。また野良猫や野良犬に蘇生が必要になった場合、自分の知識で目の前の助かる命を救うため。

## 2. 方法

- ・インターネットを活用して蘇生法を調べる
- ・熊本市動植物園の獣医師の方にFAXを通して蘇生法についての質問に答えていただく

## 3. 結果

1) インターネットで調べた、犬・猫の蘇生方法と動植物園の獣医師の方に答えていただいた詳しい蘇生方法のポイント

### ① 心臓の拍動・呼吸の有無の確認

呼吸→胸の横に軽く手を当てて胸が膨らんで縮むか  
→目で見て確認するには、胸やお腹の上下を確認。

心臓→聴診器で心臓の音を確認、血管の脈を触って拍動しているか、犬猫であれば、股動脈という後ろ足の付け根のあたりにある血管が確認しやすい。

### ② 気道の確保

呼吸をしていない場合、気道の確保を行う。  
舌を口からだし、喉を真っすぐの状態にする。

### ③ 人工呼吸

鼻からゆっくり息を吹き込む。2回吹き込めば、心臓マッサージを行う。

### ④ 胸骨圧迫（心臓マッサージ）

- ・犬猫の背部を、真上から体の1/3の深さまで垂直に押す
- ・1分間に100回のペースで30回行う  
(押した分だけ戻すことが大事)

これを1分間に30回、人工呼吸を2回で1セットとして繰り返す。獣医師に引き渡すまで継続する。

※胸骨圧迫や人工呼吸は、健康な動物には絶対しないこと

## 2) 動植物園の方に答えていただいた質問等

Q：年内で蘇生を行った回数

A：ここ1～2年では何度かあったが、はっきりとした回数は分からない。動植物園の飼育数はおよそ600頭数だが、その1割が1年に亡くなっており、亡くなった動物の約1割の動物に蘇生を行ったが、ほとんど亡くなっている。

Q：犬や猫の心臓の位置

A：前足の肘関節を曲げて胸に当たる場所が心臓の頭と言われている。

Q：心肺蘇生によって助かる確率

A：状況や動物の状態によって変わるものなので分からないが、何もしないよりは心肺蘇生を行ったほうがより助かる確率は高くなる。

Q：心肺蘇生は素人でもできるのか

A：正しい蘇生方法を知っておくことが前提になるが、素人でも蘇生は行える。犬や猫の種類によっても心肺蘇生のやり方は違うため、ペットを飼っている人であれば、日頃からペットの心臓の位置や、通常の呼吸状態を観察したり、脈拍や呼吸数を測ったりしておくことが大切。

## 4. 考察

動物にも人間と同じように蘇生方法があり、私達のような素人にも心肺蘇生をすることが出来ると分かった。しかし、動物園でも60頭くらいが蘇生を行ったけれど、そのほとんどが亡くなっていることから、心肺停止状態の動物を蘇生することは非常に困難であることが考えられる。

## 5. 感想

動物の蘇生は特殊な機械などを使わなくても行えるため、蘇生方法の正しいやり方を広め蘇生方法を知ってもらうことが大切だと考えた。

## 6. 参考文献

熊本県動植物園 診療教育班

(動物ゾーン) 管理事務所 (096) 368-4412

pet lives <https://petlives.jp/love-dog/18741>

